



有限会社 山本技建  
代表取締役 / インテリアコーディネーター /  
二級建築士 / 整理収納アドバイザー 2級

### 山本 邦彦

50年以上続く(有)山本技建の2代目として生まれ育ち、跡を継ぐことを意識して育つ。10代の頃から看板工事や工場のライン作業などさまざまな仕事を経験し、その傍ら家業を手伝ってきた。学業を終えると、本格的に家業に入り、専務を経て2018年に代表取締役に就任。現在は伝統的な木工事の技術を守りつつ、若い人材が働きやすい環境づくりにも尽力している。

## 確かな技術と育成力で伝統技術を次世代へ 職人の地位向上も見据える木工事の専門家

静岡県浜松市を拠点に、半世紀にわたって木工事業を手がける(有)山本技建。2代目社長の山本氏は、伝統技術を継承しながら、若手職人たちがより生き生きと働けるよう育成環境の構築にも力を入れている。その独自のビジョンに、俳優の名高達男さんが迫った。



### 伝統の技術を継承して

名高 こちらは創業から50年以上の歴史を持つ建設会社だとうかがっています。まずは、山本社長が2代目に就任されるまでの経緯からお聞かせください。

山本 私は幼い頃から工事をする父の背中を見て育ったこともあって、自然と図画工作などのづくりに興味を持ち、大工を目指すようになりました。10代後半になると外で看板工事や工場のライン作業などを経験しつつ、家業の手伝いも始め、20歳を過ぎて学業を終えたタイミングで本格的に家業に入ったんです。

名高 なるほど。会社の跡を継ぐことを、早くから考えていらっしやったんですね。そこからの歩みはいかがでしたか？

山本 技術を一からしっかりと学び、代表就任の前には専務として外回りやお客様とのコミュニケーションも経験させてもらったので、スムーズに事業承継ができたと思います。実際に2018年に代替わりしてからも、良い意味で環境の変化を特に感じることなく仕事に臨みましたからね。

名高 引き継がれるにあたって、先代から何か声をかけられたり、思いを伝えられたりということもあったのでは？

山本 引き継ぎに際して特別なやり取りがあったわけではないものの、日頃から「嘘をつかず、いつ誰に見られてもいように仕事をしなさい」と言われてきました。ですので、その教えはしっかり守っていかうと思っています。最近はブ



▲(有)山本技建を支える社員の方々

レカットの安価な建材で建てられる住宅も増えてきました。その中でも、当社は長年にわたって木と向き合い、手刻みでの木材加工から施工までを一貫して手がけてきたのです。その伝統技術も、若い職人たちにきちんと継承していかなければならないと考えています。

### 技術力を伝え働きやすい環境も整える

名高 現在は、こういった現場を請け負っているのか教えてください。

山本 当社では、木造住宅の設計施工や、アパート、マンション、店舗などの内装工事をメインに手がけています。木材の加工はすべて手刻みで行っているため、お客様のご要望に柔軟にお応えすることができ、フルオーダーの住宅のご依頼を承ることも可能です。

名高 頼もしいお言葉ですね。それを実現するためには、職人さん一人ひとりが高い技術を身に付けている必要があるかと思っています。やはり、人材育成には特別に力を入れていらっしゃるのですか？

山本 ええ。私は、良い職人がそろっていれば自ずと良い建物ができあがり、それがお客様からの評価や次の仕事へつながると考えています。ですから、営業活動よりもまずは、人をしっかりと育てることを念頭に置いているんです。かつては、「技術は見て盗め」という言葉が職人の世界では当たり前でした。しかし、時代が変わり、合理的な指導方法が

主流になってきている今の世の中に我々もフィットしていく必要がありますからね。年配の職人には「若手が早く仕事を覚えれば助かることも多いから」と積極的な指導を促し、若手の職人には「教えてもらっていることへの感謝を忘れないように」と伝え、両者の距離感を私が取り持つように心がけています。

名高 社長自らが職人さんたちとコミュニケーションを取りながら世代間のギャップを埋めることで、技術力と働きやすさを両立させているのですね。

山本 そう言っていただけると嬉しいです。また、当社では現場へ出る際の作業着も、デニム地のオリジナルのものを一人ひとりへ支給しており、見た目にも清潔感やお洒落さを出すことで前向きな気持ちで仕事に臨めるように工夫しています。せっかく高い技術を身に付けているのですから、もっと「自分は大工なんだ」という誇りを持ってもらいたいです。

名高 お話をうかがっていると、社長が生き生きと事業に取り組んでいらっしや

る様子が伝わってきます。ご自身の中で、そこまで頑張れる原動力はどこにあると感じていますか？

山本 やはり、自分たちの手がけた仕事でお客様から感謝をしていただけるのがシンプルに嬉しいんです。全員で明るく、てきぱきと現場を仕上げ、最後にお客様に「頼んで良かった」と言ってもらえると、この上ない喜びを感じますね。

### 職人の地位向上を掲げて

名高 この先もまだまだ成長を続けられることと思います。ぜひ、会社の今後のビジョンについてもお聞かせください。

山本 2019年からは新たな試みとしてベトナム人の職人を雇用したり、地元の高校で人材募集をかけたりと、会社全体でさらに人材の採用・育成に力を入れていこうとしているところです。そのためにも、これから社会保険などの福利厚生をしっかりと整えていくことはもちろん、職人たちの地位を向上させる努力もしようと考えています。若い職人たちがいつか家庭を持って子どもができたとき、仕事をしている姿を我が子にかっこいいと思ってもらえる。そんな職業にできるよう、できることはすべてやりたいですね。

名高 では最後に、この先一緒に仕事をすることになる未来の社員さんへ向けて、一言メッセージをお願いします。

山本 街に出たときに、「この建物は自分が手がけたんだ」と胸を張って言える立派な職人に育てますので、やる気のある方はぜひ当社に来てください！

### Guest Comment>>

#### 名高達男(俳優)

「大手が強い分野ではあるものの、住宅部門に力を入れるため、コンサルタントと連携して事業展開していきたいです」と力強く語ってくださった山本社長。自らの技術に誇りを持つ職人の顔と、組織を円滑に回すために工夫を凝らす経営者の顔、その両面をうまく使い分けていらっしやる社長なら、老舗の会社をさらに飛躍させられるはず。私も応援しています。

